

2020 年度 アセンブリⅡ プロジェクト申請書

プロジェクト	障がい理解促進事業 共生社会実現に向けて
主な活動場所	<input type="checkbox"/> 学内 <input type="checkbox"/> 病院内 <input checked="" type="checkbox"/> 学外
担当教員	[所属・氏名] 保健衛生学部・看護学科 北村 眞弓 保健衛生学部・リハビリテーション学科 会津 直樹
内 容	[プロジェクトの概要] 特定非営利活動法人えんとかくでは、2013年より障がい児の支援施設、不登校児の支援を行っている組織です。2018年度現在市内5か所に事業所を構え、日々共生社会を目指して活動しています。共生社会実現には、福祉関係者や当事者だけでなく、地域の皆様全体の理解促進が重要だと考えます。障がいの垣根を超えた交流を目的にプロジェクトを実施します。
	[具体的な活動内容] <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児と健常児と一緒に描く絵の企画支援 ・車いすツインバスケットの実施に関する企画支援 ・障がい理解の音楽祭実施支援 ・学生主体によるPR方法の企画立案と実施 ・活動状況などについての情報発信
	[活動に参加することで得られるスキル（チームワーク、主体性）] <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児と関わることで、当事者が感じる困難さを知ることができる。 ・地域の皆様と交流することで、コミュニケーション能力が養われる。 ・学生主体で内容を企画立案し実施することで、主体的に行動する力、チームワークで働く力、計画力、実行力、発信力などが養われる。
	[受け入れチーム数] ※ 原則6名以内／1チーム 2 チーム 【プロジェクト全体で 12 名】
	[活動を予定している時間帯や日付など] <ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせなどは、アセンブリ活動の時間帯に学内で行う。 ・イベントは5月9日に実施予定なのでそれまでに準備の時間とする。
[その他] 医療機関に携わる学生たちが様々な障がい児の「今」を知り、交流することで、今後学んでいく中で当事者の気持ちを考えてかかわりを持つきっかけになると考えます。ただ難しいことをするのではなく、自然と交流するイベントを通じて、どのようなやり方があるかを考え、実施する。そんな企画に主体的に参加しませんか。	